＜おわりに＞

地域包括支援センターと在宅介護支援センターは、医療・介護・福祉をつなぐ重要な役割を担っている。しかし医療関係者には認知度が低い存在である。私事ではあるが、この度私が図らずも「全国地域包括・在宅介護支援センター協議会」会長に就任した。これを機会に、医療・介護・福祉の連携を更に深めて行きたい。

参考文献

1）藤原秀俊　地域医療構想と地域包括ケアシステム　北海道医報　第1167号　2015年12月

2）全国地域包括・在宅介護支援センター協議会　令和７年度　第１回協議会総会資料　2025年５月

お知らせ

第９回生命（いのち）を見つめるフォト＆エッセー 作品募集

日本医師会では、病気やけがをした時の思い出、介護にまつわる経験、命の誕生にまつわる話、医師や看護師との交流など、医療や介護に関するエピソードや、生命の輝きをとらえた写真を募集しています。ぜひご応募ください。

＜概　　要＞

フォト部門

生命の尊さ、大切さを感じさせる作品を募集します。人間、動物、自然など被写体は自由です。学生のみなさんが応募しやすいように「小中高生の部」も設けています。

エッセー部門

病気やけがをした時の思い出、介護や生命の誕生にまつわる話、医師や看護師、患者さんとの交流など、医療や介護に関するエピソード、お世話になった医師や看護師ら宛てに送ったという想定の「感謝の手紙」などを募集します。小学生の部では生命を身近に感じたエピソードをテーマとします。身近な生き物にまつわるエピソードも可能です。

＜応募要項ほか＞

詳細は以下をご参照ください。

公式ホームページ　https://jigyou.yomiuri.co.jp/photo-essay/

生命を見つめるフォト＆エッセー　検索

＜締め切り＞

2025年10月３日（金）必着

＜作品送付先＞

〒104-0061　東京都中央区銀座7-15-5 共同ビル3F「生命を見つめるフォト＆エッセー」係

＜お問い合わせ先＞

読売新聞東京本社 社会貢献事業室「生命を見つめるフォト＆エッセー」事務局

Tel：03-3216-8598（平日10:00～17:00）

主催：日本医師会、読売新聞社　後援：厚生労働省、文部科学省

協賛：東京海上日動火災保険株式会社、東京海上日動あんしん生命保険株式会社